



ENERGY
OF
PEACE
ひろしま

被爆・終戦80年における 平和の取組



核兵器や戦争が世界にもたらした悲劇

1945年8月からまもなく80年

広島で約14万人

長崎で約7万人が死亡

(原爆投下～1945年末)

今でも、放射線により
多くの人々が苦しめられ続けている



80年たった今でも課題が解決できていない

地球上に1万2千発の核兵器が存在

(1945.8月 1か国2発 → 2024.1月 9か国 12,000発)

「核のタブー」が打ち破られようとする危機的な状況

- ・核兵器が平和の維持に不可欠であるという論者の存在
- ・ロシアによるウクライナ侵略、中国の核兵器開発、北朝鮮のミサイル発射、中東情勢

人生をかけて核兵器廃絶を訴え続ける被爆者の高齢化

核軍縮は、安全保障上の問題との受け止められる傾向 →

経済界など他の分野において、機運が高まっていない

「被爆80年の今、取り組む意義」

だからこそ…

一日でも、一刻でも早く、

核兵器廃絶を実現しなければならない



核兵器廃絶に向けた転換点

- ▶ G7広島サミット開催 (令和5年5月)
- ▶ 日本被団協のノーベル平和賞受賞 (令和6年10月)

被爆・終戦80年を、

核兵器廃絶に向けた取組を

加速する転換点にしなければならない!

被爆・終戦80年の今年を転換点に

今年が転換点となるよう、

- ① 世界の影響力のあるリーダーを巻き込み、
被爆地からメッセージを発信し、うねりをつくっていく
- ② 未来の平和を担う人材（若者）の育成を、
被爆・終戦80年を契機に加速・強化する
- ③ 様々な関係者と協働して核兵器廃絶を進める
独立した組織を、被爆地・広島につくる（法人化）

8月に向け集中的に切れ目なく取組実施

世界のリーダーが集い、
未来と平和を語るプロジェクト
(主に4～6月)

若者達が集い、
未来に平和をつなぐプロジェクト
(主に7～9月)

核兵器廃絶に向けた各国政府関係者への
働きかけ・トッププロモーションなど (通年)

「NPT運用検討会議準備委員会」などの機会を捉えた
政府関係者や市民社会への積極的な働きかけ

研究成果発表会、
HOPe法人化 など

寄付金も活用しながら、
被爆・終戦80年の節目に、新規・拡充事業に取り組む。

核兵器廃絶・平和＝特定の国の
安全保障上の問題として認識

各国・各分野で影響力を持つ
リーダーによる発信が必要

世界のリーダーが
国内外で平和に対する強いメッセージ性を持つ



「2023世界平和経済人会議ひろしま」の様子
(ひろしま国際平和&ビジネスフォーラムの旧名)

「被爆地・広島に集い、未来に向けて力強く発信」

- 2025ひろしま国際平和&ビジネスフォーラムの開催
- パグウォッシュ会議世界大会などの国際会議の開催支援 など

2025ひろしま国際平和&ビジネスフォーラム【拡充】

ビジネスが「国際平和」のために
果たせる役割を議論し、広島から世界へ発信

【開催日】 R7.5.29(木)~5.31(土)

【場 所】 グランドプリンスホテル広島



初 Executive Committee (5名程度) 組成 (議長：新浪剛史 経済同友会代表幹事)
第28代駐日アメリカ大使や、ハーバード・ケネディスクール教授 など

初 国内外で著名な企業やビジネススクールとの連携
例) マッキンゼー・アンド・カンパニー、ノースウエスタン大学ケロッグ経営大学院、IMD

経済界を中心としたマルチステークホルダーの具体的な行動を促す「ひろしま宣言」を発出予定。

「パグウォッシュ会議」世界大会への支援【新規】

第63回「パグウォッシュ会議」世界大会
20年ぶりに広島開催

【開催日】 R7. 11. 1(土)~11. 5(水)

【場 所】 広島国際会議場

【テーマ】 被爆80年ー核なき世界と戦争の
廃絶をめざして

オール広島県の平和推進の取組にも資するもので
あり、広島市と連携して支援する



被爆者の高齢化が進む中、
次世代への継承が喫緊の課題

被爆者の平和への想いを、
未来につないでいくための人材育成を強化

(裾野拡大と専門キャリア形成支援による国際社会で活躍する人材育成)

- 国際平和のためのユース対話イベント
- 広島大学と連携した被爆80年人材育成事業
- グローバル未来塾inひろしま
- 核兵器と安全保障を学ぶ広島-ICANアカデミー

- 核分野の若手研究者による対面の集中合宿
(ウッドロー・ウィルソンセンター・ブートキャンプ)
- 大阪・関西万博での出展を活用した、
被爆・終戦80年おりづるキャンペーン

など



「グローバル未来塾inひろしま」の様子

裾野拡大と専門キャリア形成支援による国際社会で活躍する人材育成

専門性

博士課程
レベル

【新規】核分野の若手研究者による
対面の集中合宿

(ウッドロー・ウィルソンセンター・ブートキャンプ)

大学・
大学院レベル

【新規】広島大学と連携した
被爆80年人材育成事業

・専門知識習得(広大)・フィールドトリップ(海外)
・成果発信

核兵器と安全保障を学ぶ
広島-ICANアカデミー

・オンライン研修【拡充】
・広島研修

高校
レベル

グローバル未来塾
in ひろしま

・通塾研修(英語力含む)
・長崎・沖縄研修・海外研修【拡充】

ひろしまジュニア国際フォーラム

・被爆の実相に触れる・グループ討議
・広島宣言

国内

海外

裾野拡大の
取組

- ・国際平和のためのユース対話イベント【拡充】
- ・被爆・終戦80年おりづるキャンペーン【拡充】

国際平和のためのユース対話イベント【拡充】

- 国連機関(UNITAR等)と連携し、8/6の原爆の日に実施
- 国連幹部や政治リーダー等と若者との対話
- 過去に実施した 平和人材育成事業の修了生の参画
- 初 大阪・関西万博の広島県ブースでの配信を予定



令和6年に国連機関と連携して実施したユース対話イベント

核分野の若手研究者による対面の集中合宿【新規】 (ウッドロー・ウィルソンセンター・ブートキャンプ)

核分野の若手研究者 (主に博士課程の学生) 対象、
核の歴史や研究方法などを学ぶために

- 米国ウィルソンセンターが実施する、
対面での集中合宿の広島開催
- 世界の将来の研究者に、被爆の実相という視点の提供
- 国内・県内の大学や研究機関との ネットワークづくりの促進
- 県民向けのアウトリーチ活動の実施



【参考】「広島-ICANアカデミー」の様子

被爆・終戦80年おりづるキャンペーン【拡充】

- SNSを活用、折り鶴を通して
平和のメッセージを世界に発信
- 令和3年度から実施、令和7年度で5年目
- 大阪・関西万博での広島県ブース出展を活用
- 影響力の大きい著名人への働きかけ



へいわ創造機構ひろしま (HOPE) の一般社団法人化【新規】

(任意団体) へいわ創造機構ひろしまから

一般社団法人

へいわ創造機構ひろしまに

【業務開始】 令和7年12月1日 (予定)

【法人化の目的】

- 資金獲得する仕組みづくり⇒活動基盤の強化
- 国連の認定NGOとしての活動を視野



被爆・終戦80年を

核兵器廃絶に向けた転換点とするため、

被爆地広島から核兵器廃絶への力強いメッセージを

世界に発信してまいります！

